



令和6年度 住吉小学校 グランドデザイン

[教育目標]

助け合い、進んで学習するたくましい子ども

[重点目標 / つけたい力]

将来の自立へ 生きる力をつける

学力の向上

[目指す子どもの姿]

- ★互いの考えを認め、学び合える子ども
- ・学習の基礎・基本を身に付ける力
- ・進んで家庭学習に取り組む子ども
- ・周りの人の考えを聴き、それに対して自分の考えを話すことができる力

- 1 国語と算数の単元ワークテストの学期全体の学級平均が、全国平均を超える学級の割合を90%以上にする。
- 2 家庭学習に関する保護者アンケートで肯定的回答の割合を80%以上にする。
- 3 児童アンケート(低・中・高)「友だちの話をしっかり聴いたり、自分の考えを話したりできた」の肯定的回答の割合を80%以上にする。

[成果目標]

かかわる力の育成

[目指す子どもの姿]

- ★自分もみんなも大切にする子ども
- ・相手の思いを受けとめようとする力
- ・自分の思いを伝えようとする力

- 1「安心して話せる雰囲気のある学級だ」と回答する子どもの割合を80%以上にする。
- 2「スマイル班(縦割り班)活動に進んで参加している」と回答する子どもの割合を80%以上にする。
- 3「相手のことを考えた言葉づかいや態度で接している」と回答する子どもの割合を80%以上にする。

体力向上・健康増進

[目指す子どもの姿]

- ★互いのよさを認め、楽しく運動する子ども
- ・友だちのよさを見つけ、自分に生かす力
- ・基本的な運動ができる力
- ★正しい生活習慣を身につける子ども
- ・1日の生活の仕方を考えて実行する力

- 1 児童アンケート「友だちとグループ学習をしたり、体育カードを使って学習したりして体を動かすことができた。」の肯定的回答の割合を90%以上にする。
- 2 児童アンケート「『早寝・早起き』の習慣が身に付いている」の肯定的回答の割合を90%以上にする。

[取組領域 / 内容]

学習指導

- 主体的、対話的で深い学びの授業の実施
- 「こいがた学びチャレンジ」の活用
- 中学校区共通「教師と児童のスタンダード7」の実施
- 個に応じた指導の実施
- 家庭学習の取組支援(家庭学習強調週間の実施)

道徳

- 人権や差別の問題を自分の問題としてとらえる「じんけん」学習の充実
- 「あつたかタイム」による人間関係づくり能力の育成
- 「にこにこタイム」「スマイル班活動」の意図的、計画的実施
- 「チャットタイム」等による相談活動の実施
- 特別支援学級担任による出前授業
- ASSESSを取り入れた児童理解

特別活動

生徒指導

食育

体育・保健

- 体育授業におけるグループ学習の活用
- 体育的行事の実施(運動会、体力測定等)
- 家庭と連携したパワーアップ週間の実施
- タブレットを活用した授業の実施

学級経営

認め合い・・・支え合い・・・高め合い
人間関係づくり(仲間づくり)

異学年
交流活動

学年・学級集団

異学年集団

特別支援教育の充実⇒一人一人の教育的ニーズの理解

人権教育、同和教育の充実⇒人権感覚と実践的態度の育成

・一人一人を大切にした授業実践 ・自己肯定感の育成

一人一人に寄り添い、響き合う学校

家庭(子育てのパートナー)、地域(運命共同体)と共に

家庭・地域との共育

- 連携の中心に位置付けた学校評議員会
- しばたの心継承プロジェクトを核とした地域連携と外部人材活用の充実
- 地域コーディネーターを活かした地域ボランティアとの連携
- 広報活動の充実(学校だより、学校HP、校長だより等)
- 町内会長・民生委員懇談会の実施
- 家庭・地域の願いの受止め

中学校区学校との連携

- 学力向上の推進
- 家庭学習強調週間の実施
- 生徒指導の連携
- 三校連での情報交換
- 中学校区すこやかな子どもを育てる会

市・関係機関との連携

- 市「子どもが輝く新発田の教育」～諸機関、地域団体との連携～
- 幼稚園、保育園との連絡会
- 市隣保館
- 学区内組織・団体との連携(児童クラブ・住吉コミュニティセンター・校区青少年健全育成協議会)